

第 22 回全国自治体政策研究交流会議 2005.8.24(水) 鳥取県立県民文化会館

| | |
|--|--|
| <p>知事講演(13:40～14:40)</p> <p>テーマ 『地方から国を変える』</p> <p>講演者:片山 善博(鳥取県知事)</p> | <p>パネルディスカッション(15:00～17:00)</p> <p>テーマ:『自立と改革』</p> <p>今後の地域経営のあり方を探り、地域が自立していくためには何が必要なのか、それぞれの立場から幅広く議論していく。</p> <p>出演者:片山 善博(鳥取県知事) 篠田 昭(新潟県新潟市長) 村田 邦子(神奈川県二宮町議会議員) 中島 興世(北海道恵庭市議会議員)</p> <p>コーディネーター: 新藤 宗幸(千葉大学教授)</p> |
|--|--|

第 19 回自治体学会・鳥取大会 2005.8.25(木) 鳥取環境大学

< 午前の部 (10:00～12:30) >

◇分科会1 市町村の自立 ～合併する道・合併しない道～◇

| | |
|---|---|
| <p>三位一体改革が進む中、合併を選択した市町村も単独の道を選択した市町村も、その生き残りをかけ様々な取り組みが求められている。今後、「自立」に向け市町村が実践すべき課題は何か、様々な取り組み事例を通し、市町村の真の自立への道を議論する。</p> | <p>●パネリスト</p> <p>中村勝治(境港市長) 山内道雄(島根県海士町長) 児玉更太郎(安芸高田市長) 矢野学(上越市議) 田嶋義介(島根県立大学)</p> <p>●コーディネーター</p> <p>原誠一(島根県)</p> |
|---|---|

◇分科会2 身近な資源で快適生活！ ～ローカル・エネルギーの活用～◇

| | |
|---|---|
| <p>化石燃料に頼らず、自然エネルギーや廃食油を代替軽油燃料として活用している自治体やNPO、市民が増えている。地域電線網として自然エネルギーを結ぶ構想など、地域での自然エネルギーなどの活用や仕組みを考えたい。</p> | <p>●パネリスト</p> <p>吉村元男(鳥取環境大学) 阿部能英(高島市) 竹林征雄((株)循環社会ビジネス研究所) 外池美代子(鳥取県東部消費生活モニター協議会)</p> <p>●コーディネーター</p> <p>坪郷實(早稲田大学)</p> |
|---|---|

◇分科会3 学校と地域参画 ～開かれた学校づくりに向けて～◇

| | |
|--|--|
| <p>信頼され、開かれた学校づくりに向けて、学校は地域住民、保護者等の要請・意見をどれだけ積極的に取り入れるか、地域参画をどう実現させるか、地域と学校の役割り分担など、学校改革をベースに議論を展開したい。</p> | <p>●パネリスト</p> <p>原田いづみ(弁護士) 曾根暁子(大田区) 加藤逸子(鳥取県PTA協議会)</p> <p>●コーディネーター</p> <p>油野利博(鳥取大学)</p> |
|--|--|

◇分科会4 指定管理者制度 ～市民から見た公共施設運営～◇

指定管理者制度の最新動向を整理するとともに今後の方向性を探る。特に住民の利便施設である公の施設について、住民による評価や新たな公共の担い手としてのNPOとの連携など、市民の視点からそのあり方について議論を深める。

- パネリスト
野田邦弘(鳥取大学)
三野靖((財)地方自治総合研究所)
立石美佐子(NPO 法人北摂こども文化協会)
山本享((株)ふるさと鹿野)
- コーディネーター
中川幾郎(帝塚山大学大学院)

◇分科会5 市民自治でよみがえる自治体行政 ～市民とむきあう役所の将来像～◇

小泉内閣の「官から民へ」や「新しい公共」などの方向性や概念が広まる中で、これまでの行政領域が転換期にきている。今後、自治体行政はどうなるのだろうか。その将来像の見えない不安が組織を硬直化し、職員が沈滞化している現状がある。そこで、「公務」領域や「公私」役割分担等の論点で、市民自治から自治体行政の再編について、どうあるべきなのか。元気のでるこれからの行政再編について考える。

- パネリスト
島田恵司(大東文化大学) 大石田久宗(三鷹市)
相川康子(神戸新聞) 榑嶋秀吉(NPO 法人コラボ)
- コーディネーター
今井照(福島大学)

<午後部 (13:30～16:00) >

◇分科会6 震災復興と地域づくり ～阪神・鳥取・新潟～◇

阪神・淡路大震災10年、鳥取県西部地震5年、新潟県中越地震1年を期して、震災復興を地域づくりの視点で捉える。阪神については地域密着の流通業の再興、鳥取では住宅再建、中越においては農林業再生が、地域の復興をいかに支えるかを論じる。

- パネリスト
金田雅夫(鳥取県日野町)
青木勝(長岡市・旧山古志村)
布藤明良(日本生活協同組合連合会)
- コーディネーター
佐藤滋(早稲田大学・自治体学会代表運営委員)

◇分科会7 ローカルガバナンス・どう守る、住民の健康 ～地域の保健・医療・福祉～◇

地域医療・地域福祉が大きな意味をもつようになっている。制度の持続可能性の維持、サービスの連携、予防の重要性といった課題があるなかで、一人ひとりが地域の一員として、健康で生活を継続できるよう、地域の社会資源をどのようにいかしていくかということを考えたい。

- パネリスト
鏡諭(所沢市) 坂本昭文(鳥取県南部町長)
高見徹(鳥取県日南病院)
美船智代(障害者地域生活支援センター(倉吉市))
- コーディネーター
大森彌(自治体学会顧問)

◇分科会8 子どもの安全と地域力 ～みんなで守ろう！地域の宝～◇

子どもを巡る犯罪が各地で発生しています。また、空き巣や自転車盗など私達の身近での犯罪も増加しています。この分科会では、地域社会の”宝”ともいえる子どもの安全確保に焦点を絞り、地域の安全と地域社会のあり方について参加者全員で議論したい。

- パネリスト
浅雄淳子(鳥取市小学校 PTA 連合会)
石谷孝二(鳥取大学附属小学校)
大崎逸朗(春日井市)
長谷川武司
(南部地域防犯パトロール協議会(米子市))
- コーディネーター
中村攻(千葉大学)

◇分科会9 鳥取発・くらしのルネッサンス ～「人」・「場」・「文化」の再発見～◇

鳥取県では、平成 15 年度より『鳥取ルネッサンス運動』を展開し、地域経済の再生や地域社会の魅力づくりに取り組んでいる。そこでは、「人」、「もの」、「環境」、「食」、「文化」などの再発見、再評価により、地域社会の自立と改革を進めている。そのため県内での先進的な取り組み団体の報告をもとに地域の自立戦略の取り組みとその進め方について考える。

- パネリスト
坂山高朗(鳥取大学) 岡崎博司(鳥取県)
岡田一(新田村づくり運営委員会(鳥取県智頭町))
吉野立(地域交流センター田園(米子市))
- コーディネーター
岡崎昌之(法政大学・自治体学会代表運営委員)

◇分科会 10 ローカル・マニフェストの課題と展望 ～マニフェストは必要か？～◇

ローカル・マニフェストは、政治への参加を促すものとして評価されつつあるが、選挙法制度上の課題、実行システム等の課題も多くあり、マニフェストの必要性から課題、将来展望までを広く議論したい。

- パネリスト
西尾勝(国際基督教大学) 磯崎初仁(中央大学)
西寺雅也(多治見市長) 木原勝彬(NPO 政策研究所)
矢島真知子(横須賀市議)
- コーディネーター
廣瀬克哉(法政大学・自治体学会編集部会長)

< その他 >

◇ポスターセッション –自治体学サロン– (8月25日終日)◇

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取り組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

◇エクスカージョン (8月25日(木)～26日(金))◇

昨年、地元有志の方々による手作りのツアーで御好評いただいたエクスカージョンについて、今年度は大会企画に関連した以下の3コースを予定しています。また、鳥取砂丘などの名所探訪コースも準備しています。

- ①古い街並みを活かしたまちづくり <倉吉白壁土蔵群・鹿野町鹿野地区>
- ②潤いと活力のあるまちづくり <智頭町>
- ③自治体病院の経営(町立病院の取り組み) <日南町>